

「新アミノ酸分析研究会」第2回学術講演会プログラム

講演時間：依頼講演 45 分（講演 40 分＋討論 5 分），一般講演 15 分（講演 12 分＋討論 3 分），ポスター発表 60 分（コアタイム 30 分）

会場：東京大学薬学部講堂（東京都文京区本郷 7-3-1，TEL：03-3812-2111（代表））
<http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~kyoumuk/Kodo-access.pdf>

9:30 開会挨拶

一般講演 I

9:35～10:20

（座長：三上博久）

O-01 生体チオールの親水性相互作用クロマトグラフィーによる分析

○磯川宗生，角田 誠，船津高志（東大・薬）

O-02 Determination of *N*-acetylaspartic acid in human serum samples by HPLC with fluorescence detection

○葛 丹，岩佐澄子，飯塚英昭，福島 健（東邦大院薬）

O-03 アミノ酸分析の高速化

○岩崎裕子（日本ウォーターズ）

一般講演 II

10:30～11:10（座長：轟木堅一郎）

O-04 ELISA による新しいアミノ酸定量法の提案

○水越利巳，窪田和幸，宮野 博（味の素株式会社・イノベーション研究所）

O-05 L-Threonine 3-dehydrogenase によるヒト血漿中の L-threonine の定量

○田部井陽介^{1,2}，Techawaree Ueatrongchit^{1,2}，米田英伸^{1,2}，浅野泰久^{1,2,3}
（富山県立大・工¹，生工研セ²，ERATO³）

O-06 酵素反応を用いるアミノ酸分析法の開発

○釘宮章光，馬部文恵，深田理恵（広島市立大・社連セ）

依頼講演 I

11:15～12:00 (座長：宮野 博)

L-01 プロテオーム解析の基盤をなすアミノ酸分析
堂前 直 (理化学研究所・バイオ解析チーム)

12:00～13:20

昼食休憩・幹事会

13:20～14:20

一般ポスター発表

P-01～P-17 (コアタイム：奇数番号 13:20～13:50, 偶数番号 13:50～14:20)

依頼講演 II

14:30～15:15 (座長：大江知行)

L-02 非古典的ペプチド創薬、特殊ペプチド翻訳合成基盤技術と創薬展開
菅 裕明 (東大院理)

一般講演 III

15:25～15:55 (座長：山田尚之)

O-07 タンパク質のエドマン分解反応物:PTH-アミノ酸を用いた同位体希釈 LC/MS
法の構築
○佐藤 涼, 後藤貴章, 李 宣和, 大江知行 (東北大院薬)

O-08 アミロイドβペプチドの C-末端アミノ酸配列を利用したトリプシン分解
-UPLC-MS/MS 定量法の検討
○望月奈々¹, 筒井陽仁¹, 赤津裕康², 関 俊哲¹, 轟木堅一郎¹, 山本孝之²,
井之上浩一¹, 豊岡利正¹ (静岡県大薬¹, 福祉村病院長寿医研²)

依頼講演 III

16:00～16:45 (座長：福島 健)

L-03 ペプチドによる生活習慣病予防 - 特に, 高血圧, 血管系疾患予防作用について -
松井利郎 (九大院農)

一般講演 IV (座長：伊藤正人)

16:55～17:40

O-09 Longer pillar array column with a low dispersion turn for pressure-driven liquid chromatography

○宋 彦廷¹, 野口真男², 高月克也², 磯川宗生¹, 水野 潤², 関口哲志², 船津高志¹, 庄子習一², 角田 誠¹ (東大院・薬¹, 早大・理工²)

O-10 新規な分配係数測定法による高極性アミノ酸, ペプチド, 核酸のオクタノール / 水分配係数の計測

○柳田顕郎¹, 森川 剛¹, 荻原 敦¹, 東海林 敦¹, 諸橋伸行², 清水光弘², 渋澤庸一¹ (東京薬大・薬¹, 明星大・理工²)

O-11 HILIC 及び RPLC で計算されたアミノ酸保持係数の考察

○吉田達成, 三上博久 (島津製作所 グローバルアプリケーション開発センター)

総会

17:40～17:50

懇親会

18:30～20:30

会場：東京大学山上会館 (03-3818-3008)

<http://www.sanjo.nc.u-tokyo.ac.jp/sanjo/contact/>

ポスター発表

奇数番号 13:20～13:50

偶数番号 13:50～14:20

- P-01** アミノ酸分析を用いたタンパク質溶液の濃度決定
○加藤 愛, 絹見朋也, 藤井紳一郎, 吉岡真理子, 後藤麻里, 高津章子 (産総研・計測標準)
- P-02** アミノ酸認証標準物質開発における不純物アミノ酸分析
○加藤 愛, 山崎太一, 加藤尚志, 後藤麻里, 吉岡真理子, 高津章子 (産総研・計測標準)
- P-03** 計量トレーサビリティの確保されたアミノ酸混合標準液の供給を目指して
○早川昌子 (和光純薬工業株式会社 試薬開発本部 商品開発部)
- P-04** 湿度コントロール条件下での熱重量測定によるアミノ酸標準品の吸湿性・昇華性評価
○加藤尚志, 鮑新 努, 鈴木彰子, 清水由隆, 山崎太一, 加藤 愛, 高津章子, 井原俊英 (産総研・計測標準)
- P-05** UHPLC による Fmoc-アミノ酸の自動プレカラム誘導体化法による高速分析の検討
○佐藤泰世, 宮路敏彦, 坊之下雅夫 (日本分光株式会社 LC 技術部)
- P-06** 食材分析用グルタミン酸計の開発
○加藤由美子¹, 星野 亘¹, 水越利巳¹, 藤島義之¹, 畝山寿之¹, 宮野 博¹, 小出 哲², 木下裕梨², 池田 悟², 伊藤成史² (味の素株式会社・イノベーション研究所¹, 株式会社タニタ・バイオヘルスケア事業部²)
- P-07** ペプチド N 末端アミノ酸を選択的に標識する方法を用いた Caspase 分解物の網羅的分析
○新保和高^{1,2}, Gerald Hsu², Sami Mahrus², James Wells² (味の素株式会社イノベーション研究所¹, カリフォルニア大学サンフランシスコ校²)

- P-08 D, L-アミノ酸の高速一斉分析法の開発と食品分析への応用
○唐川幸聖, 水越利巳, 山田尚之, 宮野 博 (味の素株式会社)
- P-09 キニン、キニジン誘導体を使用した両性イオン交換型キラルカラム
CHIRALPAK ZWIX によるフリーアミノ酸の分離
○西原啓二¹, Tong Zhang², Emilie Holder², Jean-Michel Heym², Pilar Franco²,
Michal Kohout⁴, Peter Frühauf⁴, Michael Lämmerhofer³, Wolfgang Lindner⁴
(株式会社ダイセル¹, Chiral Technologies Europe², Eberhard Klause
Univertität³, University of Vienna⁴)
- P-10 低交換容量スルホン化ポリエチルスチレンジビニルベンゼン樹脂カラムを用いた二元グラジエント HPLC によるイミダゾールおよび芳香族アミノ酸とクレアチニンの同時分離定量
○横山幸男¹, 杉本隆一², 志村明弘² (横国大院¹, 三菱化学²)
- P-11 バイオ医薬品製造管理へのニンヒドリン-ポストカラムアミノ酸分析法の適用
○井上陽子¹, 渋谷啓介², 松下美由紀¹, 伊藤正人¹, 中川裕章¹ (日立ハイテク
テクノロジーズ¹, 日立製作所・日研²)
- P-12 アラニンの自己拡散係数と振動モードの pH 依存性
○富岡賢人, 中 彩乃, 笠原康利, 石川春樹 (北里大学・理)
- P-13 誘導体化前処理キットと UHPLC/MS/MS を用いたアミノ酸及びジペプチドの超高速分析法の検討
○佐藤友紀¹, 塚本多矩², 福島忠将¹, 八巻 聡² (島津ジーエルシー¹, 島津製作所²)
- P-14 ヒト爪及び毛髪中遊離 D/L-アミノ酸の比を用いた糖尿病診断への試み
○関 俊哲, 保坂大樹, 轟木堅一郎, 井之上浩一, 豊岡利正 (静岡県立大・薬)
- P-15 高温逆相 HPLC による抗体医薬品の分離挙動解析
○豊田耕司¹, 中根敦子¹, 轟木堅一郎¹, 佐藤友紀², 大垣内 誠³, 福島忠将²,
林 秀樹¹, 関 俊哲¹, 井ノ上浩一¹, 伊藤邦彦¹, 豊岡利正¹ (静岡県大薬¹, 島津ジーエルシー², 島津製作所³)

P-16 ADAM28 特異的蛍光基質ペプチドの開発

○秋澤俊史¹, 伊藤紀行¹, 長野 真¹, 小西元美¹, 望月早月², 岡田保典² (摂南大・薬¹, 慶応大・医²)

P-17 ラジカル消去作用を持つペプチドとアミノ酸

磯野加奈子¹, 井上美里¹, 安田 誠¹, 福内友子¹, 山岡法子¹, 馬渡健一¹, 金子希代子¹, 重谷英寿¹, 箕浦憲彦², 岡田朋子², ○中込和哉¹ (帝京大・薬¹, 東京工科大²)